

1 なぜ「書くこと」と「衣服」が句動詞の習得に重要か

この章では「書くこと」と「衣服」に関わる句動詞について説明します。私がこの2つの言語領域を選んだ理由は、それらが明らかに私たちの日常生活と密接に結びついているからです。

また、衣服については、この章の最後で取り上げる重要な文法的なポイントがあります。

次頁の図を見ると、次のことがわかります。

1) 「書くこと」と「衣服」を表す実際の動詞とパーティクルの組み合わせのパターンを見ると、「書くこと」に関わる動詞は down と密接に結びついており、up とのつながりは少ないことがわかる。「衣服」の動詞とパーティクルの結びつきに関してはそういった片寄りはない。

2) 「書くこと」と「衣服」に関わる句動詞は40個あるが、これらの動詞を見てみると、衣服の場合、「衣服動詞」としてのみふるまう一語(単独)の動詞が実際には存在しないことがわかる。

衣服の図にある10の動詞はすべて、どちらかといえば単純で基本的な意味をもつありふれた動詞である。

例: put it on the table 「テーブルに置く」

get a pen 「ペンを取る」

pull a rope 「ロープを引っ張る」等

同じように、「書くこと」と結びついた句動詞は21個あるが、「書くこと」の図には、実際に「書くこと」を意味する一語の動詞は4つしかない (write, type, scribble, sketch)。他の動詞は、「衣服」の場合のように、広く一般的な意味をもつ、むしろ普通の動詞である。

これらは句動詞の重要性と生産性を明確に示しています。また、句動詞の習得と理解が難しい場合がある理由もわかります。すでにお話ししたように句動詞の意味が一見したところでは最終的な意味とは関係のない言葉の組み合わせから派生することが多いからです。

以下の各セクションで説明する表現は重複しているものがあります。また、句動詞の意味については、ある程度詳細な注釈を施し、動詞とパーティクルが組み合わせると、いかにしてその意味になるかを示してあります。

